

マクロ経済学 I (神谷) 試験問題 平成10年7月15日 第2時限

持込 不可 試験時間 50分

1. 国内総生産 (GDP) の概念についてつぎの問に答えよ。

- 問 1. この概念を定義し, GDP と国民総生産 (GNP) および国民所得 (NI) との関係を説明せよ。
- 問 2. 以下はマンキウ著 *Principles of Economics* に引用されるロバート・ケネディーの演説の一節である。ロバート・ケネディーは, 1968 年のアメリカ合衆国大統領選挙の民主党候補であった。
- (a) GDP について, ケネディーは要するに何をいっているか。
- (b) この意見について, 貴君の考えを述べよ。

[Gross Domestic Product] does not allow for the health of our children, the quality of their education, or the joy of their play. It does not include the beauty of our poetry or the strength of our marriages, the intelligence of our public debate or the integrity of our public officials. It measures neither our courage, nor our wisdom, nor our devotion to our country. It measures everything, in short, except that which makes life worthwhile, and it can tell us everything about America except why we are proud that we are Americans.

2. 国民総貯蓄が国内総資本形成を超えると国際経常余剰が生じる。このことにつき, 以下の問に答えよ。

- 問 1. 国内総生産を  $Y$ , 固定資本減耗を  $D$ , 国内総資本形成 (在庫品増加を含む) を  $I$ , 国民概念の総最終消費支出 (政府最終消費支出を含む) を  $C$ , 国民概念の輸出を  $X$ , 国民概念の輸入を  $M$ , 国外からの純所得を  $A$ , 国外からのその他の経常移転純収入を  $R$  として, つぎの公式を示せ。
- (a) 国内総生産と総支出の等式
- (b) 国民可処分所得  $Y_d$  の定義式
- (c) 国民総貯蓄  $S$  の定義式
- 問 2. 「国民総貯蓄が国内総資本形成を超えると国際経常余剰が生じる」ことを, 前問で得た結果を利用して説明せよ。
- 問 3. 「輸入を促進すれば国際収支の経常黒字は減る」という単純な政策論は誤りであるとする説がある。この単純な政策論を誤りとする説には, どのような根拠があるか。

3. 投資需要の理論について考えよう。

- 問 1. 投資の内部収益率とは何か。
- 問 2. 投資の限界効率とは何か。内部収益率の概念に基づいて説明せよ。
- 問 3. 投資水準の上昇とともに投資の限界効率が逡減するならば, 投資需要は利子率の減少関数となる。企業が利潤を最大化するように投資需要を決定するものとして, このことを説明せよ。
- 問 4. 深刻な不況期には利子率を下げても, 投資需要は必ずしも回復しない。それはなぜであろうか。

4. 物価と貨幣賃金率変動しない経済の有効需要の決定を, いわゆる IS-LM 理論によって考えよう。

- 問 1. IS 曲線, LM 曲線の意味を説明し, それぞれのグラフを描け。
- 問 2. 有効需要の意味を説明し, その大きさを, IS-LM のグラフによって図示せよ。
- 問 3. 財政政策, 金融政策を通じて有効需要を統御し得ることを, 図を用いて説明せよ。
- 問 4. 財政政策と金融政策の効果を比較し, どのような相違があるかを明らかにせよ。